事業名	【継続】 特定健康診査等事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
7,378万9		3,778万6		1	3,600万2
事業期間	平成２０年度～			総事業費	

【事業目的】
40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査、保健指導を実施することで、生活習慣病を早期に発見し生活習慣の改善につなげます。併せて、令和２年度までに胃がんリスク検査未受診者を対象に、胃がんリスク検査を実施します。
また、20～39歳までの国民健康保険加入者を対象とした若年者健康診査を実施し、早い段階から生活習慣病予防に取り組むことで、特定健康診査の受診率向上につなげ、医療費の適正化を図ります。

【事業概要】

①特定健康診査・若年者健康診査対象者への受診案内

②**特定健康診査**（対象者：40歳から74歳）
若年者健康診査（対象者：20歳から39歳）

【健診料】無料
【基本的な健診項目】
・問診、血圧の測定　　・身長、体重、腹囲測定
・血液検査（肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査）　・尿検査　等
【島原市独自の追加健診項目】
・貧血検査　　・心電図　　・血清クレアチニン検査
【詳細な健診項目】（医師の判断で実施）
・眼底検査
【追加項目】胃がんリスク検査
・対象者：20歳～74歳の方で令和２年度までに未受診の方
・内　容：ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査

③健診結果の通知

④特定保健指導

（特定健診受診率・特定保健指導実施率）

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特定健診	特定健診受診率	45.7%	47.5%	47.1%	47.6%	46.8%	46.4%
	県内平均受診率(21市町)	38.2%	38.6%	38.5%	39.4%	39.5%	39.2%
	県内順位(21市町)	7位	6位	7位	8位	11位	10位
保健指導	特定保健指導実施率	76.3%	70.0%	78.9%	73.1%	85.2%	84.4%
	県内平均実施率(21市町)	49.5%	52.5%	53.1%	53.7%	58.8%	58.9%
	県内順位(21市町)	2位	2位	2位	6位	2位	4位

科目	5款	2項	1目	目名称	特定健康診査等事業費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ ・H26年度から胃がんリスク検査を実施 ・H27年度から30・35歳の節目健康診査を実施 ・H28年度から20～39歳の若年者健康診査を実施	上記事業概要と同じ （特定健診事業第三期）	引き続き実施予定

事業名	【継続】 上の原浄水場・安中配水池耐震化事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
6億9,268万2		1,080万7	5億1,700万0		1億6,487万5
事業期間	平成３０年度～令和５年度　（複数年度事業）			総事業費	25億6,311万9

【事業目的】

上の原水系の上の原第１配水池は建設後59年を経過し、上の原第２配水池は建設後52年を経過しているため、経年劣化が著しく、備えるべき耐震性能を確保できていない状況になっています。

また、安中水系の安中配水池も建設後42年を経過しており、経年劣化と平成３年に発生した雲仙普賢岳噴火災害の土石流の影響もあって、本体部に多数のクラックが発生し、備えるべき耐震性能が確保できていない状況にあるため、改築・更新を行うものであります。

【事業概要】

既設の配水池を運用しながら補修・耐震補強工事が難しいことから、新たな浄水場及び配水池を築造する計画をし、また、水需給バランスを確保するため各配水池の配水量を見直したことから、関連するポンプ設備更新、水源開発、管路の新設などを計画しています。

事業内容

新規水源整備	１本（上の原第３水源）
浄水場配水池整備	２箇所（上の原浄水場、安中配水池）
取水ポンプ整備	２箇所（上の原第１水源、上の原第２水源）
減圧水槽整備	１箇所（安中減圧水槽）
導送配水管布設等	L≒5,500m

上の原浄水場完成予想図
（令和3年度完成予定）

安中配水池（昭和52年建設）

科目	１款	１項	１目	目名称	拡張費	水道課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	新規水源　１本 浄水場新設造成　１箇所 取水ポンプ更新　２箇所 導配水管布設　L=2,097m	浄水場新設　１箇所 送配水管布設　L=1,690m	配水池新設　１箇所 減圧水槽新設　１箇所 送配水管布設　L≒1,713m